



## 2024年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月31日

東

上場会社名 オルバヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所  
 コード番号 2689 URL <https://www.olba.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前島 洋平  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 村田 宣治 (TEL) 086-236-1115  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年6月期第1四半期の連結業績(2023年7月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	27,495	4.5	250	△37.9	249	△38.2	168	△33.0
2023年6月期第1四半期	26,307	5.2	403	61.7	404	57.0	251	43.5

(注) 包括利益 2024年6月期第1四半期 144百万円(△42.1%) 2023年6月期第1四半期 248百万円(26.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第1四半期	27.90	—
2023年6月期第1四半期	41.84	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第1四半期	41,364	10,042	24.3
2023年6月期	40,878	10,327	25.3

(参考) 自己資本 2024年6月期第1四半期 10,042百万円 2023年6月期 10,327百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2024年6月期	—	—	—	—	—
2024年6月期(予想)	—	0.00	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日~2024年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	57,757	7.5	752	△11.8	758	△11.8	486	△11.1	80.73
通期	118,386	7.2	2,200	2.3	2,209	2.4	1,451	2.7	240.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 ー 社 (社名) ー 、除外 ー 社 (社名) ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年6月期1Q	6,250,000株	2023年6月期	6,250,000株
② 期末自己株式数	2024年6月期1Q	214,100株	2023年6月期	218,150株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年6月期1Q	6,033,863株	2023年6月期1Q	6,010,235株

当第1四半期末において、「役員向け株式交付信託」が保有する当社株式192,900株を自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいます。実際の業績等は、業況の変化等により、上記数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、3ページ1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

2021年に創業100周年を迎えた当社は、「現業強化・生産性向上」、「SDGs推進・ESG経営」、「新規事業探索・育成」、「DXの推進」を重点施策とした中期経営計画を毎年更新することで、次の100年に向けた基盤づくりを進めています。特に「DXの推進」については中期経営計画実現に不可欠な要素として捉えており、「OLBA-DX」と銘打った活動をDX推進室を中心に進めています。

その結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は274億95百万円（前年同期比 4.5%増）、連結営業利益は2億50百万円（前年同期比 37.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億68百万円（前年同期比 33.0%減）となりました。

事業セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

#### 〈医療器材事業〉

医療器材事業の商品分類別売上高は下記の通りです。ただし、当該商品分類別売上高については、管理会計に基づく集計値を元に分析を行っています。そのため、商品分類別売上高の合計は医療器材事業の売上高と一致していませんが、これによる分析の正確性への影響は軽微であると判断しています。

#### 〈第1四半期 医療器材事業 商品分類別売上高〉

単位：百万円

	前期		当期		増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
手術関連消耗品	11,278	45.0	11,991	45.0	713	6.3
整形外科消耗品	5,924	23.7	6,188	23.2	264	4.5
循環器消耗品	4,819	19.3	5,318	20.0	499	10.4
消耗品 小計	22,022	88.0	23,499	88.2	1,478	6.7
設備備品	2,994	12.0	3,133	11.8	139	4.7
商品分類別売上高 合計	25,016	100.0	26,633	100.0	1,618	6.5
調整額	△172	—	△720	—	△548	—
医療器材事業 合計	24,844	—	25,913	—	1,069	4.3

医療器材事業の成長の軸は消耗品の売上高です。この強化策として、数年前から関西地方を重点エリアと設定し、営業活動を展開してきました。主に、手術関連消耗品は神戸エリア、循環器消耗品は播磨・姫路エリア、整形外科消耗品は大阪エリアでの活動が成果につながっています。さらに、福島県ではオリンパスマーケティング社との協力体制の構築も進んでいます。一方で、世界的な物価高騰に伴い医療機器の仕入価格は上昇を続けていますが、仕入価格上昇分を販売価格に転嫁するための交渉を粘り強く行っています。その結果、医療器材事業の消耗品の売上高は前年同期比6.7%増となりました。その内訳は以下のとおりです。

手術関連消耗品の売上高は、前年同期比6.3%増となりました。主力の外科関連製品が同13.6%増と業績を牽引したことに加え、外科手術で用いられる麻酔関連製品も同15.8%増と大きく前期を上回りました。また、福島県におけるオリンパスマーケティング社との取り組みにより、消化器内視鏡関連製品も同24.7%増と業績に寄与しています。

整形外科消耗品の売上高は、大阪エリアにおける前期の新規顧客獲得効果により、人工関節関連製品が前年同期比1.8%増、脊椎関連製品が同2.7%増、外傷・スポーツ・関節鏡（※1）関連製品が同2.8%増となりました。また、手術器械のレンタルや再生医療関連製品なども順調に拡大し、整形外科消耗品は同4.5%増となりました。なお、人工関節の分野において急速に普及しつつあるロボット手術については、前期に引き続き、その導入支援を積極的に行っています。

（※1）膝や肩などの関節内にカメラを挿入して行われる低侵襲手術

循環器消耗品の売上高は、前年同期比10.4%増と医療器材事業の業績を牽引しました。前期に新規顧客開拓の進んだカテーテルアブレーション(※2)関連製品は前年同期比14.4%増と引き続き高い成長を維持しています。なお、TAVI(※3)やステントグラフト(※4)など心臓血管外科関連製品も同20.4%増と大幅増となりましたが、これらは一時的な症例増加によるものと見ています。

(※2) 頰脈の原因となる心筋組織を焼灼もしくは凝固する治療

(※3) 心臓の大動脈弁を低侵襲に人工弁へ置換する治療

(※4) 大動脈を低侵襲に人工血管へ置換する治療

設備品の売上高は、前期から継続している設備投資案件の発掘強化により、前年同期比4.7%増となりました。また、新規事業として取り組んでいるクリニック向け自動精算機の販売は、営業体制の強化が奏功し販売台数が増加しています。

以上の結果、医療器材事業の売上高は259億13百万円(前年同期比 4.3%増)となり、一方、販売費及び一般管理費は、人的資本への投資としての給与ベースアップ、組織体制の強化に向けた人員補強、OLBA-DX推進のためのシステム投資などにより前年を上回ったため、営業利益2億11百万円(前年同期比 39.2%減)となりました。

#### 〈SPD事業〉

SPD事業は、前期に発生した一部顧客の失注の影響を受けましたが、既存受託施設における管理料の見直しや、引き続き高い水準を維持する感染対策製品の需要により、売上高は12億58百万円(前年同期比 1.3%増)と増加しました。一方、販売管理費は人件費上昇などの影響により増加し、営業利益は26百万円(前年同期比 43.7%減)となりました。

#### 〈介護用品事業〉

介護用品事業は、在宅医療・居宅介護の需要が引き続き高く、主力の介護用品レンタル売上高は前年同期比4.7%増と順調に推移しました。また、付随する物品販売や住宅改修なども、それぞれ同24.8%増、同30.5%増と業績を牽引しました。その結果、売上高は6億56百万円(前年同期比 6.7%増)、営業利益は56百万円(前年同期比 20.2%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は413億64百万円となり、前連結会計年度と比べ4億86百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金が2億2百万円、電子記録債権が6億20百万円、商品が2億63百万円それぞれ増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が4億26百万円、有形固定資産が54百万円、投資その他の資産が52百万円それぞれ減少したことによるものです。

また、負債は313億22百万円となり、前連結会計年度と比べ7億71百万円増加しました。主な要因は、短期借入金17億45百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が80百万円、電子記録債務が3億26百万円、未払法人税等が5億21百万円、長期未払金が27百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は100億42百万円となり、前連結会計年度と比べ2億85百万円減少しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益により1億68百万円増加した一方で、配当金により4億36百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は、1.0ポイント減少し、24.3%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

おおむね計画通りに推移しており、2023年8月9日に公表した業績予想に変更はありません。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、作成したものです。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,399,977	2,602,261
受取手形、売掛金及び契約資産	21,751,354	21,324,860
電子記録債権	2,757,422	3,378,249
商品	6,160,897	6,424,412
その他	671,080	575,417
流動資産合計	33,740,731	34,305,200
固定資産		
有形固定資産	4,248,127	4,193,210
無形固定資産		
のれん	15,331	14,053
その他	689,361	719,251
無形固定資産合計	704,693	733,305
投資その他の資産	2,184,629	2,132,466
固定資産合計	7,137,450	7,058,981
資産合計	40,878,181	41,364,182
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,898,649	17,818,642
電子記録債務	7,473,337	7,146,739
短期借入金	955,000	2,700,000
未払法人税等	572,516	51,080
役員賞与引当金	-	3,464
賞与引当金	36,594	74,442
その他	1,656,716	1,594,527
流動負債合計	28,592,812	29,388,895
固定負債		
役員株式給付引当金	228,142	240,870
退職給付に係る負債	444,149	457,946
長期末払金	175,077	148,000
その他	1,110,355	1,086,437
固定負債合計	1,957,725	1,933,253
負債合計	30,550,538	31,322,149
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	607,750	607,750
資本剰余金	321,534	321,534
利益剰余金	9,416,474	9,148,826
自己株式	△342,042	△335,690
株主資本合計	10,003,715	9,742,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	137,135	117,760
退職給付に係る調整累計額	186,792	181,853
その他の包括利益累計額合計	323,927	299,613
非支配株主持分	-	-
純資産合計	10,327,643	10,042,033
負債純資産合計	40,878,181	41,364,182

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
売上高	26,307,999	27,495,857
売上原価	23,272,437	24,443,544
売上総利益	3,035,561	3,052,313
販売費及び一般管理費	2,632,145	2,801,690
営業利益	403,416	250,623
営業外収益		
受取利息	8	315
受取保険金	6	383
受取手数料	1,194	420
売電収入	2,947	3,096
助成金収入	1,995	1,777
その他	1,479	4,204
営業外収益合計	7,633	10,198
営業外費用		
支払利息	4,466	4,692
売電費用	1,229	1,150
その他	1,196	5,116
営業外費用合計	6,893	10,959
経常利益	404,156	249,862
特別利益		
有形固定資産売却益	85	49
特別利益合計	85	49
特別損失		
有形固定資産除却損	-	0
無形固定資産除却損	2,123	-
特別損失合計	2,123	0
税金等調整前四半期純利益	402,118	249,912
法人税、住民税及び事業税	46,395	36,490
法人税等調整額	104,263	45,050
法人税等合計	150,659	81,541
四半期純利益	251,459	168,370
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	251,459	168,370

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	251,459	168,370
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△130	△19,375
退職給付に係る調整額	△2,356	△4,938
その他の包括利益合計	△2,486	△24,313
四半期包括利益	248,972	144,057
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	248,972	144,057
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療器材 事業	S P D事業	介護用品 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	24,481,787	1,210,679	615,532	26,307,999	—	26,307,999
セグメント間の内部 売上高又は振替高	362,638	31,680	23	394,342	△394,342	—
計	24,844,425	1,242,360	615,555	26,702,341	△394,342	26,307,999
セグメント利益	347,027	47,388	46,701	441,117	△37,701	403,416

(注)1 セグメント利益の調整額△37,701千円には、セグメント間取引消去1,300千円、各報告セグメントに配分しない全社費用△39,002千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療器材 事業	S P D事業	介護用品 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	25,614,763	1,225,451	655,642	27,495,857	—	27,495,857
セグメント間の内部 売上高又は振替高	299,227	33,286	1,071	333,585	△333,585	—
計	25,913,991	1,258,738	656,713	27,829,443	△333,585	27,495,857
セグメント利益	211,112	26,663	56,153	293,930	△43,307	250,623

(注)1 セグメント利益の調整額△43,307千円には、セグメント間取引消去902千円、各報告セグメントに配分しない全社費用△44,209千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			
	医療器材	S P D事業	介護用品事業	合計
消耗品	21,593,398	—	—	21,593,398
設備備品	2,888,389	—	—	2,888,389
S P Dサービス	—	1,210,679	—	1,210,679
介護用品サービス	—	—	133,852	133,852
顧客との契約から生じる収益	24,481,787	1,210,679	133,852	25,826,319
レンタル取引等に係る収益 (注)	—	—	481,679	481,679
外部顧客への売上高	24,481,787	1,210,679	615,532	26,307,999

(注) 「介護用品サービス」のレンタル取引に係る収益については、収益認識会計基準の適用除外項目である「リース取引」に該当することから、顧客との契約から生じる収益には含めていません。

当第1四半期連結累計期間（自 2023年7月1日 至 2023年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			
	医療器材	S P D 事業	介護用品事業	合計
消耗品	23,083,518	—	—	23,083,518
設備備品	2,531,244	—	—	2,531,244
S P D サービス	—	1,225,451	—	1,225,451
介護用品サービス	—	—	151,181	151,181
顧客との契約から生じる収益	25,614,763	1,225,451	151,181	26,991,397
レンタル取引等に係る収益 (注)	—	—	504,460	504,460
外部顧客への売上高	25,614,763	1,225,451	655,642	27,495,857

(注) 「介護用品サービス」のレンタル取引に係る収益については、収益認識会計基準の適用除外項目である「リース取引」に該当することから、顧客との契約から生じる収益には含めていません。